

Title	ドイツ啓蒙主義研究(17) 目次
Author(s)	
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2019
Issue Date	2020-07-31
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/77049">https://hdl.handle.net/11094/77049</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# ドイツ啓蒙主義研究 17

## 目 次

文学論争におけるクロップシュトックの評価 —文学論争の再考にむけて—	……………(福田 覚) ……	1
1 ゴットシェートの評価		
2 『救世主』の発表からスイス滞在まで		
3 ボードマーの評価		
4 対立の波紋		
5 暫定的な見通し		
ヴェツェルとウィーン —『喜劇役者たち』を中心に—	……………(廣川 智貴) ……	11
はじめに		
1 伯爵の文化相対主義		
2 劇場委員会の不能		
3 シュトルム・ウント・ドラング批判		
4 「戯曲作品はあるが、国民劇場はない」ドイツ		
おわりに		
神童と天才 —18 世紀における心的能力をめぐる議論をたどる—	……………(吉田 耕太郎) ……	25
はじめに		
1 神童とその記録		
2 ダイモーンから創造者		
3 熱狂の問題		
4 心的能力と機知		
5 文明史のなかの天才		
6 良き天才としての神童		